

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸にあるものを活かす ～将棋編～</p> <p>【質問趣旨】 ここ数年、瀬戸市出身の藤井聡太棋士の活躍によって、全国的に将棋が注目されるようになり、「瀬戸市出身の～」という報道も日常的になってきました。</p> <p>それ以来、全国から瀬戸市へ将棋ファンが訪れるようになってきており、市内においても、将棋に関する様々な取り組みがされており、将棋と瀬戸の結びつきは日に日に増してきています。</p> <p>しかしながら、瀬戸市民と将棋との親和性は、まだまだ限定的でもあるようにも思われます。</p> <p>(次ページへ)</p>	<p>(1) 本市における将棋の位置付けと現状について</p>	<p>① 本市には、瀬戸将棋文化振興協会があり、目的として「将棋を通じて伝統文化の継承と知識の普及向上を図るとともに、地元棋士の活躍を応援し、この将棋文化を市民の誇りの醸成やシティプロモーションに活かしていくことで、瀬戸市が市内外の人々に親しまれるまちとなること。」としています。また、同協会HPのなかでは「せともものと将棋のまち」という記述もあります。将棋に対し、瀬戸市としての役割をどのように考えているのか伺います。</p> <p>② 地元棋士の活躍により、市外からの将棋と瀬戸市のリンク付けは随分とできているように感じます。瀬戸市民においても、地元棋士の活躍を喜び、誇りに感じている方々は非常に多いものの、将棋そのものがまだ市民の身近にない、いわゆる「文化」として根付いていないのではないかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 本市において将棋に関する取り組みは、どのようなものがあるのか、特に今まで将棋に興味なかった人に対する取り組みがどの程度あるのか伺います。</p> <p>④ 上記を踏まえ、本市の将棋文化振興のために、今後どのような取り組みが必要と考えているのか、将棋に興味を持っていただく裾野を広げる活動こそが必要かと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>それは、将棋文化そのものが、まだ瀬戸市にしっかりと根付いていないからではないでしょうか。</p> <p>わたしは、文化とは市民の日常の暮らしのなかで培われて構築されていくものであり、いわゆる芸術よりも世俗的なものであると考えます。</p> <p>そう考えたとき、これからの本市においては、「将棋そのもの」を、市民ひとりひとりがより身近に感じられる取り組みこそが必要であると考え、質問します。</p>	(2) 将棋を広めることでの効用について	<p>① 第2次瀬戸市教育アクションプランでは、「主体的・対話的で深い学び」「自ら考え、学び、生き抜く力」を掲げています。将棋を教育的観点から見たとき、「集中力が身につく」「忍耐力が身につく」「礼儀作法が身につく」「論理的思考が身につく」「相手の立場で考える力が身につく」「先を読む・未来を比較する力が身につく」「全体を見る力が身につく」などの効用が期待でき、本市の教育方針と合致する点は多いと考えますが、どのようなか伺います。</p> <p>② コミュニティ・スクールによる地域と学校の新たな関係構築や、いずれ始まるであろう部活動の地域移行を見据えた場合、将棋は男女年齢問わずできることから、世代間交流や地域間交流の橋渡しにも成り得ると考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 将棋が子どもたちの身近になったとき、波及する効果として、子どものスマホ・ゲーム時間の短縮、子どもを通じて親世代への拡がり、三世代交流の促進、地域の方々との交流の機会の創出（高齢者とのふれあい対局など）、高齢者の認知症予防効果、既存のこども将棋大会の裾野の拡がり、既存の将棋関連事業の活性化などが挙げられますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3) 野球でいえば、いきなり硬式野球ではなく、まずはキャッチボールから。気軽に将棋に触れられる環境を。</p> <p>(4) 将棋に関わる人材について</p>	<p>① 現在、瀬戸市内において、市民（主に大人）が気軽に将棋を指せる場がどの程度あるのか伺います。</p> <p>② 現在、瀬戸市内において、子どもが気軽に将棋を指せる場がどの程度あるのか伺います。</p> <p>③ 本市が将棋を文化にしていこうとしたとき、市民（大人も子どもも）が気軽に将棋を指せる場・環境は充実していると考えているのか伺います。</p> <p>① 将棋に関わる人材について、将棋文化を瀬戸市に根付かせるためには、市民（特に子ども）が気軽に将棋を指せる環境整備は必須だと考えます。どのような人材が関われば、子どもたちが気軽に将棋を指せると考えているのか伺います。</p> <p>② 将棋と子どもに関わる人材の発掘機会としては、コミュニティ・スクールによる地元人材の発掘、部活動の地域移行を見据えたなかでの人材募集、自治会・地域力・公民館など地域主体の活動のなかでの将棋を指す場の創出と人材発掘などが想定され、将棋文化を瀬戸市に根付かせるという目的のもとであれば、行政としての後押しがあってもよいのではと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 将棋に関わるモノについて	<p>① わたしたちが子どものころから粘土に親しむことで、やきものを瀬戸市の文化だと自然と認識していったように、まずは、子どもたちの身近に将棋セットがある環境作りが大切だと考えます。現在、本市の教育・子育て環境において、どの程度将棋セットが配置されているのか伺います。</p> <p>② 将棋を指す最初のハードルは、駒の動かし方を覚えることですが、駒に動かせる方向を記した将棋や、動物を模したミニ将棋、持ち運びが安易なものなど、最近では、多種多様な将棋セットがあります。市内保育園から小学校中学校、放課後施設まで、学齢に応じた将棋セットを配置することは、将棋に親しむ機会創出として有用だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 学校施設に限らず、市内公共施設のうち、市民交流の場、市民がくつろぐスペースなどに、将棋セットを配置することは、本市が目指す方向性に沿ったものではないかと考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(6) 将棋に関わる財源について	<p>① いくら将棋を市として推すとしても、基本は個人の趣味趣向であるため、そこにおける税金の投入は慎重を期すべきだと考えます。しかしながら、(2) で示したように、教育的な効用も高いことから、関係基金の活用も可能ではないかと考えますが見解を伺います。</p> <p>② 本市は今年度、ガバメントクラウドファンディングの実施を予定しています。これら将棋に関することをプロジェクト化し、財源とすることについては、全国的にも「将棋と瀬戸」の認知も進んでいるため、非常に期待値が高いのではと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。